

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
生理学演習(作業療法学科中心)		必修(作) 選択(福)	2	1	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
稲場 直子	C303	naoko.inaba		水曜日 13:00~15:00		
授業の目的・概要	生理学とは生命現象の仕組みを解き明かす学問である。本科目の目的は、人体の感覚機能、自律機能(循環、呼吸、消化・吸収)、代謝、体温調節、内分泌、生殖、腎臓の働き、免疫の仕組みを理解することである。講義は Teams を使った同時双方向型授業およびグループワーク形式で行い、生理学の学習を通して身体の機能が適切に保たれる仕組みの理解を深めるとともに生命に対する畏敬の念を養う。					
学習上の助言	生理学は非常に広い学問分野で、すべての専門科目の基礎となる科目であるので、毎回の講義内容をきちんと復習して次回の講義に備えること。講義では資料を配布するが、復習は配布資料だけに頼らず、必ず教科書に基づいて学習すること。予習・復習で疑問が生じた場合は、Teams などを通して随時質問し、早めに解決すること。					
教科書	生理学 第3版 /著:内田さえ 他 /編:東洋療法学校協会 /医歯薬出版					
参考書	○x問題でマスター生理学第4版 /監修:志村まゆら、大沢秀雄 /医歯薬出版 標準生理学 第8版 /監修:福田康一郎 /医学書院					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	感覚機能について理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
②	血液の働きと免疫機能について理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
③	自律機能(循環、呼吸、消化と吸収)について理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
④	代謝と体温調節の仕組みについて理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
⑤	腎臓の働きについて理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
⑥	内分泌と生殖機能について理解し、説明できる。	HSU(1)(2)(4)(5)		OT(1)(2)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)			
1,2	感覚1:感覚の分類と一般的性質について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書「第13章 感覚」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。	4		
3,4	感覚2:体性感覚、内臓感覚、痛覚、味覚と嗅覚について学ぶ。			4		
5,6	感覚3:聴覚、平衡感覚、視覚について学ぶ。			4		
7,8	循環1:血液の働き心臓血管系について学ぶ。		教科書「第2章 循環」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。	4		
9,10	循環2:心臓の構造と働き、血液循環、循環調節、リンパ系について学ぶ。			4		
11,12	呼吸1:外呼吸と内呼吸、呼吸器系の構造と機能、換気とガス交換について学ぶ。		教科書「第3章 呼吸」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。	4		
13,14	呼吸2:呼吸運動とその調節について学ぶ。			4		
15,16	1回から14回の内容についてまとめ、復習する。		小テスト形式の課題で復習する。		4	
17,18	消化と吸収1:消化器の構造と機能、消化管の運動について学ぶ。		教科書「第4章 消化と吸収」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。	4		
19,20	消化と吸収2:消化液、吸収、肝臓の働き、摂食の調節について学ぶ。			4		
21,22	代謝:代謝の仕組みについて学ぶ。		教科書「第5章 代謝」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。		4	
23,24	体温:体温調節の仕組みについて学ぶ。 生殖・成長と老化:成長、生理的老化、生殖、妊娠と出産について学ぶ。		教科書「第6章 体温」、「第9章 生殖・成長と老化」を予習する。小テスト形式の課題で復習する。		4	
25,26	排泄:腎臓の働きについて学ぶ。 生体の防衛機構:免疫について学ぶ。		教科書「第7章 排泄」、「第14章 生体の防衛機構」を予習する。小テスト形式の課題で復習する。		4	
27,28	内分泌:ホルモンについて学ぶ。		教科書「第8章 内分泌」を予習する。 小テスト形式の課題で復習する。		4	
29,30	16回から28回の内容についてまとめ、復習する。		小テスト形式の課題で復習する。		4	
試	期末定期試験:達成度評価・評価のポイント参照					

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	0	0	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する（選択式等による筆記試験）。評価割合は 50%とする。試験では授業中に取り組んだ課題を基本として講義内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果の返却とともに、正解を提示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業中にグループワークを行い、各学習項目をまとめ、互いに説明してもらう。評価割合は 50%（うち、グループワークに関する学生同士の評価項目も含め、教員が判断する）					
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスを変更する可能性があります。</p> <p>担当教員：◎稲場直子</p> <p>実践的授業の内容：教員は、最先端の運動神経生理学分野で 20 年以上研究を続けてきている。その専門性を生かして学生に教授する。グループワークで各疾患の病態生理について学習し、他者に説明できる能力を身に着けるとともに、他者と協力して目標を達成する能力を養い、根拠に基づいた医療の実践に必要な知識と論理的思考力を修得させる。</p>								